



紀宝町

議会だより

第47号

平成30年 12月 1日 発行



議会日誌

平成30年 7月～ 9月

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| 7月 3日 | 国道169号奥漕道路Ⅲ期事業促進協議会総会
(北山村) | 8月 8日 | 三重県町村議会議長会定期総会(津市) |
| 4日 | 青森県藤崎町議会議員視察研修 | 15日 | 第12回紀宝町花火大会 |
| 9日 | 三重県町村議会議長会理事会(津市) | 17日 | 紀南環境衛生施設事務組合定例会(新宮市) |
| 10日 | 熊野川流域対策連合会理事会・総会(新宮市) | 22日 | 三重県町村議会議長会と県関係部局長との意見交換会
(津市) |
| 19日 | 全国森林環境税創設促進議員連盟総会
(埼玉県秩父市) | 29日 | 紀南介護保険広域連合議会定例会(熊野市)
熊野・南郡正副議長会 三重県知事要望(津市) |
| 20日 | 熊野川流域ダム湖下流団体協議会定期総会(新宮市) | 30日 | 紀宝町子ども議会 |
| 24日 | 国道169号線改良促進連絡協議会要望活動(東京都) | 31日 | 地方創生まちづくり特別委員会
南牟婁郡交通安全対策協議会委員会
紀宝町保健対策協議会 |
| 28日 | 第14回中能登町祭「織姫夏ものがたり」
(石川県中能登町) | 9月 2日 | 御浜町制施行60周年記念式典(御浜町) |
| 8月 1日 | 全国高等学校総合体育大会開会式(伊勢市) | 3日 | 全員協議会 |
| 2日 | 全国高等学校総合体育大会行啓特別奉迎(津市)
熊野川河口に橋を架ける会要望活動
(東京都他)(～3日まで) | 10日 | 議会運営委員会
近畿自動車道紀勢線建設特別委員会 |
| 6日 | 熊野・南郡正副議長会(熊野市) | 13日 | 教育民生常任委員会現地視察 |
| 7日 | 議会運営委員会
第1回臨時会 | 18日 | 第3回定例会・第1日目 |
| 8日 | 熊野川河口に橋を架ける会要望活動(大阪市他) | 19日 | 第3回定例会・第2日目 |
| | | 21日 | 秋の全国交通安全運動出発式(御浜町) |

9月定例会

一般質問

(要約)

新宮紀宝道路

・新宮紀宝道路の進捗について

向井 健雅 議員



議員

新宮紀宝道路の用地交渉の進捗について、改めて伺いたいと存じます。

産業基盤整備担当理事

用地交渉につきましては、三重県近畿道紀勢線推進プロジェクトチームが行っておりまして、地権者の皆様の多大なご理解とご協力をいただき、用地取得が進捗しております。新宮紀宝道路の紀宝町内の道路予定地としましては250筆あり、9月4日現在の契約状況は、

平成30年第3回紀宝町議会定例会は、9月18日に開会しました。

第1日目は、初めに、議長報告と各委員長報告、一部事務組合議会議員報告、広域連合議会議員報告を行い、続いて、町長から、第2回定例会以降の町行政各般にわたる報告がありました。その後、一般質問が行われ、4人の議員が質問に立ち、諸課題について当局の取り組みと考え方を質しました。引き続き、議案審議に入り、紀南社会福祉施設組合の規約の一部変更に関する協議、平成30年度一般会計補正予算を可決しました。

第2日目の9月19日には、平成30年度特別会計補正予算(2件)、平成29年度一般会計決算並びに6つの特別会計決算を認定し、意見書4件を可決して閉会しました。

250筆中、216筆、

86・4%の進捗となっております。面積といたしまして49,898・97㎡を

取得したということであり

ます。プロジェクトチームでは、移転先が決定していない等の理由により、契約締結に至っていない地権者の方につきましては、今後も課題解決に個別に対応し、契約締結に向け、努力をしまし、努力をしまし、

議員

用地取得の中で、問題点

といつか、心配しております。埋蔵文化財調査について、今後どういふふうな進め方になるのか。

教育課長

本調査につきましては、国土交通省から委託を受けました三重県教育委員会、及び三重県埋蔵文化財センターが調査を実施しております。調査対象は事業予定地のうち、用地業務が完了しました鶴殿区の2箇所、調査面積合計630㎡であります。調査結果といたしましては、この地域でも比

較的多く見られる土器などが確認されましたが、特に重要な文化財は発見されなかったということ、今回の調査区間における発掘調査はこれで終了となるということです。今後につきましては、用地業務が完了し、発掘調査が可能となった範囲を対象に順次調査を進めていくと伺っております。

議員

それによって工事が出来ないというような結果にはならない、というふうに受け取ってよろしいですか。

教育課長

もし重要な文化財等がありましたら、保存記録という作業がございます。

議員

最終的には出来るということ、よろしいですか。

教育課長

保存記録をした後には、工事の実施を進められるというふうに伺っております。

議員

最後に、工事発注の状況を説明願いたいと思います。

産業基盤整備担当理事

工事発注状況につきましては、新宮紀宝道路熊野川河口大橋P1からP3下部工事が7月18日に（株）銭高組が26億5626万円で落札、契約されております。内容につきましては、熊野川にかかる河口大橋の和歌山県側の橋脚3基の工事で、工期といたしましては来年8月31日までとなっております。また、紀宝町域では新宮紀宝道路紀宝ランプ橋下部工事が8月9日に（株）海邊組が1億2949万2千円で落札、契約されております。この内容につきましては、紀宝町成川地区鶴子橋付近のランプ橋の橋脚1基の工事で、工期といたしましては、来年2月28日までとなっております。



近畿自動車道紀勢線建設特別委員会

事業主体である国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所からは、準備が整い次第、議会、住民の皆様にご説明会を実施したいと伺っているところであります。

議員

この事業に関しましては、地震が起きる場所にもよるんですが、やはり早期に、東北の震災同様ですね、早期に避難をする。あるいはアクセスする道路を早急に造る必要があるんではなからうかというふうに思っております。町長の見解をよろしくお願い申し上げます。

町長

近畿自動車道紀勢線プロジェクトチームの懸命な努力をいただき、そして皆様にご理解とご協力をいただき

きまして、用地取得率も86%余りとなっております。本当に、ご協力いただいた皆様方にはですね、心から感謝を申し上げますというふうに思うところでございます。残りの部分についても、現在代替地といいますが、移転先がはっきりと決まっていけないという方もございますし、そういった中で、いろいろとその対象地を調査しながらですね、ご検討をいただいているところですので、これからも鋭意努力をしていただいて、少しでもご理解をいただけるように、努力をしてまいりますというふうにも思っています。工事のほうも、おっしゃっていただきましたように、一応用地を取得し、工事の着手ができることから着手をしていきたいというお話しも国交省からお伺いしております。この新宮紀宝道路については、我々はこれまででもずっとお願いをしてまいりましたように、災害時における代替道路としての必要性とか、緊急医療の、緊急搬送時とか、また交流

人口の増加とか、また経済活動の活発化のためには、またこの地域に住んでいる皆様方に利便性の向上等々ですね、大変大きな効果を発揮してくれるんじゃないかというふうにも思っております。地権者の皆様方の本当にご理解をいただくなかで、一日も早くですね、完成に向けてこれからも取り組みを進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

議員

町長が申されましたとおりですね、経済、あるいは命という観点から早期に完成したいというのは、私も一緒でございます。そういった中で地権者に関しましては大変なご苦労、あるいは協力をいただいた中で、この現在86%ということになってございます。これ以降も、プロジェクトチームを中心として、より一層の努力をしていただいて、完成に向けて頑張っていたきたいと思いますということを申し上げます。



浅田 和江 議員

- ・保育所、幼稚園、小学校での熱中症対策について
- ・風疹、麻疹の流行について

保育所、幼稚園、小学校の熱中症対策

議員

保育所、幼稚園、小学校、中学校の熱中症予防対策の現状について、どのようになっていますか。

健康福祉担当理事

保育所については、屋内では、保育室、遊戯室などエアコン設置をしていますので、適正な温度管理と場所により遮光カーテン、すだれの使用などの対応を行っています。外出時には帽子の着用、日陰

の利用やこまめな休憩を心がけ、日中の天気の良い日は、外出をできるだけ避けるなどの措置をしています。また、水筒を持参していますので、室内、外出時でも、喉の渇きを感じなくてもこまめな水分補給等を職員が指導し、補給水が無くなりましたら、園の方で補完をしています。さらに、子どもの疾病等の事態に備え、救急用の薬品、材料等の常備、対応を図っています。職員については、子どもは体温の調整能力がまだ十分に発達していないので、屋外だけでなく室内でも、何もしていないときでも発症しますので、室内の温度、湿度、換気、採光などの環境を適切な状態に保持するとともに、子どもの体調の変化に気を付けて対応しています。

教育課長

小中学校・幼稚園における具体的な熱中症対策としては、朝のホームルーム等で、学級担任等による、園児や児童生徒の健康観察に始まり、授業時は教室の窓を開けて風通しを良くし、併せて扇風機の使用等で対応をしています。また、猛暑日は、空調設

備が整備されている図書室や、パソコン教室等で授業を行うなどの対策も報告されています。幼稚園では、普通教室等に空調設備を設置していますので、学校環境衛生管理マニュアルにより、室温が28度を超えると冷房を使用する等の対策を行っています。その他、秋の運動会の練習時に、児童玄関前にミスト・シャワーを設置した学校、また、持参した水筒のお茶が無くなった子どもたちのために、廊下にお茶を用意している学校や、首にひんやりタオルを巻く等の熱中症対策を実施しています。

議員

夏の屋外での活動を実施するか否かの判断基準はありますか。

健康福祉担当理事

保育所の判断基準は、温度30度以上では外出を避け、涼しい室内に移動をする。温度28度から30度では、外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意をする。温度25度から28度では、運動などは定期的な十分な休息をいれるなどです。また、水遊び、プール遊びについては、遮光ネ

ットにより、楽しく遊べる暑さ対策を行っています。

教育課長

屋外活動を実施する場合の判断基準については、気象庁が発表する情報や、環境省熱中症予防情報サイト上の暑さ指数(WBGT)等を参考に、管理職が判断しています。

議員

指数等を使いながらも判断に困るような場合、教育委員会の支援体制はどのようなようになっていますか。

教育課長

各学校間で情報共有しながら、児童生徒の安全安心の向上を図れる対応を行っています。

議員

子ども達が熱中症から自分の身を守るための学びについて、どのようなお考えですか。

健康福祉担当理事

保育所では、職員が常に指導をしています。

教育課長

幼稚園では、熱中症にならないための約束ごととして、定期的な指導をしています。小中学校では、各学年の発達段階に応じて熱中症対策の指

導を行っています。

議員

熱中症になったとしても、初期症状の段階で見つけて、重症化させずに早期に回復できるように確実な対応をお願いします。

風疹、麻疹の流行について

議員

風疹・麻疹の流行について、どのような対策が取られていますか

健康づくり推進課長

風疹については、妊娠初期に風疹に感染すると、風疹ウイルスが胎児に感染し、胎児に先天性風しん症候群と総称される障がいを引き起こすことがあるため、妊娠を希望する女性、及び妊婦の夫または妊婦と同居する家族が、風しんワクチンを接種した場合、5千円を上限として、風しん予防ワクチン接種費補助金を交付しています。麻疹については、1歳未満と就学前の年長児を対象に計2回接種する、麻しん風しん混合ワクチ

ンの定期予防接種以外は、平時的取り組みは行っていませんが、感染拡大の可能性がある場合は、教育委員会等に注意喚起の情報提供を行っています。

議員

病気についての知識や予防方法の周知はどのようなようになっていますか。

健康づくり推進課長

風疹については、母子手帳発行時に保健師から周知しています。麻疹については、定期接種以外の周知はしていませんが、広報や広報折り込み等により行う必要があると考えます。風疹についても正しい知識、予防方法についての周知を行う必要があると考えています。

議員

妊娠を希望する女性が妊娠する前に、これらの情報を得られるような情報提供はできないか。

健康づくり推進課長

税務住民課で婚姻届を出された時に、ごみカレンダーと町のお知らせを渡すものの中に、風疹予防ワクチンのチラシも一緒にお渡しさせていただくような取り組みをさせて

いただきたいと考えています。

議員

麻疹について、感染拡大を防ぐためにも受診方法についての周知が必要だと思います。

健康づくり推進課長

麻疹の疑いがある時に、医療機関に連絡する。交通機関は使わない、そういったことも一度整理しまして、正しい方法で受けていただくというような方法ができるように検討したいと思います。

議員

情報提供し感染予防ができるよう、感染者が出たとしても拡大せず封じ込めができるよう対応をお願いします。



萩野 進也 議員

・災害時における避難所へ避難した人への情報について

避難者への情報提供

議員

避難所について質問いたします。昨今の日本列島は台風、地震、豪雨などにより自然災害が次から次へと発生し、そのたびに大きな被害が出ています。紀宝町におきましては8月の台風20号、9月の台風21号が四国へ上陸したとき、暴風圏に入り大変強い風、大変強い雨、そういうことで避難指示が出され、避難所へ避難された方がおられたことはご存知のことと思いま

す。避難する方は自宅でおるのが不安であるから、また危険を感じるから避難所へ避難します。特に、一人暮らしの高齢の方等が避難所へ避難するケースが多いです。そこで伺いたいします。紀宝町には何箇所の避難所がありますか。

総務担当理事

40箇所です。

議員

40箇所の避難所のうち、テレビが設置されているところは何箇所ありますか。

総務担当理事

21箇所です。

議員

21箇所設置されているということは、40箇所から21箇所引いた19箇所は設置されていないという解釈でよろしいんですか。

総務担当理事

その通りでございます。

議員

災害時の避難者は、常に不安な状態になるんですよ。不安な気持ちが強くなるから避難するんです。特に、夜間については不安が増幅します。外が暗くて見えないから、風が強くなれば不安が増

幅します。台風20号の時は夜中に暴風雨が激しく、そのような状況の時にリアルタイムの情報が欲しいという気持ちでは当然のことだと思いますけど、いかがですか。

総務担当理事

災害情報等を共有していただくのは非常に重要なことだと考えてございます。現在、指定緊急避難所等へはテレビ

の設置ではなくタブレット端末の設置を検討しています。

災害情報を得る手段として考えていますのが、国、県、町

などから提供されます気象や

雨量、河川水位、ダム放流量、

道路情報、避難情報等の様々な

情報が取得できる防災無線

のデジタル化でございます。

インターネット等を利用して、

指定避難緊急場所等にタ

ブレット端末を今年度中に設

置してまいりたいと考えてお

ります。

議員

今おっしゃられたタブレット

端末について、誰が操作す

るのですか。

総務担当理事

操作については、避難所を管理していただいている方に操作方法を覚えていただ

き、ある程度、複数人使えるようなものにしていきたいと考えております。

議員

19箇所の避難所にはテレビが設置されていないと言われました。井田小学校の体育館も、そのテレビが設置されていないところの一つになります。ラジオや携帯電話からは台風情報がとれます。しかし、そういう情報は単発的です。テレビは24時間台風情報を流し続けています。避難者へ台風情報を伝える手段としては、一番新しく分かりやすい情報はテレビのニュースです。操作も簡単です。皆さん高齢者の方であっても、テレビの操作はできます。ラジオは耳からだけ入ってくる情報です。テレビは目と耳と両方から入ってくる情報です。受け取るほうとしては、安心感の度合いがラジオとテレビでは違います。テレビのほうがより安心感があります。特に高齢の方にはなるべく分かりやすい情報が必要なんです。そういうのが必要なんです。井田小学校の体育館をはじめ、19箇所のテレビが設置されていない避難所へ、テレビ

を設置してください。

総務担当理事

公共施設にテレビが設置されている箇所が13箇所ということですが、これはそもそも台風情報を得るために設置したものではありません。その施設の用途に合わせてテレビを設置しているということでございます。たしかに高齢者等を考えたときに、テレビの情報というのは分かりやすいと思うんですけども、町としましては、このリアルタイムに台風情報も流せませんのでタブレット端末の設置、これはしっかりと取り組んでまいりたいと思います。

議員

学校の体育館と、地区の集会所では意味合いが違います。井田小学校の体育館へ避難している人たちが情報難民にならないように重ねてお願いします。もう一度言います。テレビを設置してください。

特別参与

避難されている方は、情報収集の手法としては多ければ多いほどいいのではないかと感じております。しかし、タブレット端末を提供してリア

ルタイムに避難者にお届けできるようにしていきたいというところで、タブレットの運用を決定させていただいたところでございます。

議員

各地区の集会所と小学校の体育館では、根本的な違いがあるんです。各地区の集会所であれば、自分達でテレビを設置することは可能です。指定管理者になっていて各々が自分達で予算を持てば出来ます。小学校へのテレビの設置はどのようにしたらいいのですか。教えてください。タブレット端末の設置をしていただくことは、ありがたく思います。テレビを含めて複数で情報がとれるような形にしたいだけだと思います。

総務担当理事

複数の情報を確保するという視点で今後検討してまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。

議員

先日の台風20号のとき、井田小学校の体育館へ避難した方につきまして、約10時間ほど体育館の中でおりました。何もない状況でそこにおりました。座っているか、横にな

っているか、寝ているかだけです。せめてテレビのニュースが観れる環境にしてやってください。よろしくお願いたします。最後に、もう一度だけお願いします。テレビの設置を前向きに、前向きに検討してください。



原 章二 議員

- ・熱中症対策について
- ・防災対策について
- ・地方創生について

他

熱中症対策

議員

今夏の熱中症対策としては災害として捉えるべきであり、小中学校における空調対

策はどうなっているのか。

教育課長

今年度から3か年で整備していく計画です。今年度については空調設備導入に向けて調査を実施し、平成32年度には町内7校の小中学校で実施していく計画です。総事業費用として3億1,500万円でございます。

議員

3・11東北地方大震災で児童73人、教師10人の犠牲を出した宮城県大川小学校訴訟で、仙台高裁は学校保健安全法が明記している児童生徒等の安全の確保、生命、身体の安全確保は最重要課題。これらは学校と学校施設管理者が、児童とその保護者に対して負っている根源的な義務であるとの判決を下した。これらのことからして、熱中症対策を災害として捉え、前倒して来年度から実施できないか。

町長

公約で空調整備を図っていくこととしており、実現に向けて進めている状況です。国や県の支援体制や補助金等の状況を把握しながら、今年度補正、来年度に向けて予算増を行い、早く支援できる体制

をつくっていききたい。

お年寄り対策

議員

国民年金だけで暮らしている一人暮らしのお年寄りにとって、クーラー設置は相当な負担となる。町として補助金が出せないのか。

健康福祉担当理事

クーラー整備については、国の補助金もありません。町としては協議はされていない状況ですが、今後検討しなければならぬ問題と考えます。

社明運動除草作業

議員

今夏の猛暑で社明運動時の除草作業中に熱中症を発病し、救急車で搬送される事例起こっている。しかし、保険適用は機械を使っている作業では適用されないことになっている。お年寄りがボランティアで作業しているなかで、保険適用外はおかしいのではないか。改善すべきである。

健康福祉担当理事

現在加入している地域の自主活動のための保険では、熱中症について保険適用も難しいと聞いています。時期や炎天下の作業は避けていただきたい。

防災対策、自主防災組織の現状

議員

大里地区自主防災組織としては、平成28年6月から地区タイムライン実施後、相野谷川に設置されている3か所の農業用堰の撤去を行ってきました。堰の撤去については非常に危険な作業を伴います。しかしながら、この作業で万一の場合の事故補償がなされていません。また、避難所開設時、お年寄りの避難呼びかけや、避難所への搬送時の場合の事故についても補償がありません。きちんとした補償制度を確立することを求めます。

総務担当理事

堰の撤去や避難者誘導などは事前防災行動計画に基づく

ものであると認識しております。自助・共助のなかで、共助を担っておられる自主防災活動組織の皆さんが安心して活動できるよう保険制度の創設や補償制度を検討していきます。

議員

町が現在、各業者と結んでいる災害時の応援協定について、各地区自主防災組織とも結ぶべきであると考えます。

総務担当理事

今後の課題とさせていただきます。

ブロック塀

議員

通学路における危険なブロック塀撤去について、国は2分の1の補助事業を行っています。この事業を活用して安心、安全な通学路を確保すべきもの考えますがいかがですか。

特別参与

この補助事業は、現在町ではブロック塀撤去について対象外とされていますが、大阪地震を踏まえ県にも要望していきます。

農林業の振興

議員

三重県では、今年の米価JA概算金は13,100円で昨年より100円アップとなった。しかしながら耕作者の高齢化で5年後、10年後には半減するのではと危惧されています。一方、都市部では若い人達の田園回帰志向が大変高まっています。農業に参加してみたいという若者が増えているのも事実です。このような若者を引き入れていく対策を、各地域をあげて取り組んでいくべきではないか。

産業建設課参事

地域おこし協力隊の活用も含め、受け皿となる地域の人たちとの対話、耕作者との議論を今後も深めて、次世代対策を考えていきたいと考えます。

国保の構造的問題

議員

4月から国保の都道府県一

本化がスタートしました。高すぎる保険料が大きな問題となっております。特に国保の抱える構造的な問題、それは保険料が協会健保組合などと比べて非常に高いということ。また子どもに対する減免制度、多子世帯の負担増などこれらを根本的に解決しない限り、最後の砦といわれるセーフティネットの崩壊につながるものか。どのように考えているのか。

健康福祉担当理事

加入者の高齢化、高医療費、低所得者増という構造的な問題を抱えております。今後、納付金の算定作業を進めてまいります。また医療の適正化、収納率向上に努力していきます。

嘱託職員の処遇改善

議員

町では保育士13名で園長含みますから実質8名で、産休で休まれる方、退職等ゆとりある保育状況になっていません。また、通園メダカからの転所されるケースもあり、深刻になっていきます。今後きちんとした解決を図るべきではないか。

健康福祉担当理事

職員及び嘱託職員については現在、4名の方が産休等により休職中です。さらに産休により休職予定者もいることから、対応を図っていききたいと考えております。



■次回定例会の予定

12月18日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

■議会生中継について

公共施設5ヶ所のロビー等において、町議会本会議の模様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
 - ② 生涯学習センターまなびの郷
 - ③ 福祉センター（鶴殿）
 - ④ 保健センター（神内）
 - ⑤ 相野谷診療所
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

■インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、
◎紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓
「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案（9月）

- 紀南社会福祉施設組合の規約の一部変更に関する協議について
- 平成30年度一般会計補正予算（第2号）
- 平成30年度 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 平成30年度 診療所事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成29年度決算の認定
- 一般会計歳入歳出決算
- 国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 診療所事業特別会計歳入歳出決算
- 井内地域開発事業特別会計歳入歳出決算
- 町営浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算
- 水道事業特別会計決算

意見書（9月）

- 義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書
- 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書
- 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の充実を求める意見書
- 防災対策の充実を求める意見書

編集後記

以前、京都や大阪の「地蔵盆」を紹介する新聞記事で、子供が主役の地蔵盆は「行事を通じて一人一人の名前や学年を住民が把握し、大人と子供が顔見知りになる」という点でもよかったです。地域のシステム」とありました。私たちの町でも夏から秋にかけて、盆踊りや納涼大会、秋祭りと地区の老若男女が顔を合わせる行事がいくつも開催されます。地域が主体となった行事は、地蔵盆と同じような効果をもたらすのではないのでしょうか。名前や顔がわかるということは、いざというときの「強み」になると思います。防災面において隣近所の協力が重要と言われるのですが、子育てや介護などの面でも効果を発揮するのではないのでしょうか。地域行事への参加が、地域の力を高めるきっかけになればと考えます。（文責 浅田）

「議会だより」（47号）

編集委員 塩野 真

浅田和江

市川 潔

